

～学びの里なかつ推進プロジェクト〈弁論の甲子園〉～ 福澤諭吉記念第65回全国高等学校弁論大会

担当：社会教育課生涯学習推進室 原・松山（電話0979-62-9012）

本大会は、福澤諭吉先生の「慶應義塾」命名（慶應4（1868）年）100周年に向けた記念行事として、昭和37（1962）年、中津市と慶應義塾の共催で第1回目が開催されました。その後も、全国の高校生の弁論力向上と大会を通じた交流を目的に毎年開催されています。今回も、北は北海道から南は沖縄まで原稿審査を通過した高校生弁士や招待弁士など計29名が出場します。また、市内の高校生が聴衆として参加するほか、アナウンスなど大会進行にも携わる、まさに高校生が主役の弁論大会です。福澤諭吉先生の学びの精神を引き継ぐ「学びの里なかつ」の若い中津市民のシビックプライドを引き続き醸成していく大会にしたいと考えています。

1. 開催概要

- 日時：令和8年12月4日（金）9:00～
- 場所：中津文化会館
- 出場者：計29名（原稿審査を通過した高校生弁士、大分県と沖縄県の大会上位者の弁士、招待弁士、市内高等学校代表弁士、基準弁論弁士）
- 当日の流れ
 - 9:00 開会行事（市長・慶應義塾あいさつ、優勝旗返還：熊本県立鹿本商工高等学校）
 - 9:25 基準弁論（基準点の算出）
 - 9:40 弁論（1～13番弁士）
 - 11:25 聴衆（市内高校1年生）入れ替え
 - 12:00 弁論（14～28番弁士） ※14番：留学生弁士（大分県立舞鶴高等学校）
 - 14:10 審査
 - 15:00 表彰式
 - 15:30 閉会

2. 表彰

- (1)最優秀賞（1名） 慶應義塾長賞（大会優勝旗）・中津市長賞（市長杯及び副賞）
- (2)優秀賞（10名）
- (3)入選（上記各賞以外の出場者）

3. その他

- (1)前日12月3日（木）に出場者は、福澤旧居等を見学して弁論大会に臨む。
- (2)前日に、くじで弁論順を決める。